

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

CASBEE札幌



重点項目 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2014(ver.1.3)

1 建物概要		BEE	1.6	BEEランク	A
建物名称	北4東6周辺地区市街地再開発事業(第一工区)施設建築物等 中央体育館	総合評価 ★★★★★			
建物用途	集会所				
延床面積	14,488.94 m ²				

2 重点項目への取り組み

地球温暖化対策	最重点項目 省エネルギー	★★★★★
	省資源等	★★★★★
	緑化	★★★★★
	雪処理	★★★★★

レーダーチャート

この建物は特に **緑化への取組** が優れています

3. 設計上の配慮事項とCASBEEスコア

A 省エネルギー		合計	12点	／24点
Q1 温熱環境	スコア 1.0	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア 2.0	
Q1 光・視環境	スコア 0.0	LR1 自然エネルギー利用	スコア 2.0	
		LR1 設備システムの高効率化	スコア 4.0	
		LR1 効率的運用	スコア 3.0	
B 省資源等		合計	17点	／23点
Q2 耐用性・信頼性	スコア 1.0	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア 8.0	
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア 1.0	
		LR3 地球温暖化への配慮	スコア 3.0	
		LR3 地域環境への配慮	スコア 3.0	
C 緑化		合計	11点	／16点
Q3 生物環境の保全と創出	スコア 3.0	LR3 地域環境への配慮	スコア 1.0	
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア 6.0			
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0			
D 雪処理		合計	3点	／3点
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア 2.0	

4 設計上の配慮事項

A 省エネルギー ・外壁の断熱性を高くすることによって冷暖房空調負荷低減による電力の削減。 ・窓は適正な大きさとし、Low-e複層ガラスの採用により遮熱することで空調負荷を削減。 ・コーゼネレーションシステムの採用により、省エネルギー化を図った。 ・人感センサーや調光可能な照明器具の採用による使用電力の削減。 ・LED照明による電力負荷の削減。		
B 省資源等 ・外装はコンクリート打放し仕上げとし、外装材を省き、省資源に配慮した。 ・共用廊下の内装仕上げを極力省き、コンクリート打放し仕上げを多用した。 ・雨水や井水の利用によって上水の使用量を削減。	C 緑化 ・植樹間隔や樹種を揃えた沿道の並木により再開発区域全体に緑のネットワークを形成。 ・敷地内通路脇や広場の緑化につとめ、緑化率26%を確保した。 ・様々な種類の植物を植え、季節の変化を楽しめる計画とした。	D 雪処理 ・陸屋根とし、雪を地上に落下しない計画とし、建物際を安全に通行できる計画とした。 ・市民一般利用者が利用する主出入口前や敷地内車路はロードヒーティングを敷設。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される